

安全データシート

作成日 2014年2月5日
最新改定日 2017年04月28日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ACDelco DEX-COOL Extended Life Antifreeze/Coolant
化学品番号	19369241 (4L)
供給者の会社名	株式会社阿部商会
住所	〒101—0053 東京都神田美土代町3
電話番号	03-3233-2213
推奨用途及び使用上の制限	不凍剤／冷却液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:ミスト) 区分4 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B 生殖毒性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(中枢神経系、血液系、腎臓) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性) 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(腎臓、肝臓)
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分外 水生環境有害性(長期間) 区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
吸入すると有害
皮膚及び眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
中枢神経系、血液系、腎臓の障害
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、肝臓の障害のおそれ

注意書き 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

<p>応急措置</p>	<p>ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。</p>
<p>保管</p>	<p>容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。</p>
<p>廃棄</p>	<p>施錠して保管すること。 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
エチレングリコール	80～90%	HOCH ₂ CH ₂ OH	(2)-230	既存	107-21-1
ジエチレングリコール	0.1～5%	HO(CH ₂ CH ₂) ₂ H	(2)-415	既存	111-46-6
2-エチルヘキサン酸ナトリウム	1～5%	C ₄ H ₉ CH(C ₂ H ₅)CO ₂ Na	(2)-611	既存	19766-89-3
ネオデカン酸ナトリウム	1～5%	C ₁₀ H ₂₀ O ₂ .Na	(2)-611	既存	31548-27-3
水	1～5%	H ₂ O	対象外(天然物)	既存	7732-18-5

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 情報なし

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) エチレングリコール(政令番号:75)(80%～90%)

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合		汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合		口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
5. 火災時の措置		
消火剤		小火災：散水、二酸化炭素、粉末消火剤。 大火災：耐アルコール性泡消火剤。
使ってはならない消火剤		棒状注水。
特有の危険有害性		可燃性物質：燃えるが、容易に発火しない。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 吸入すると有害となるおそれがある。 接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法		危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護		消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 空気式呼吸器(SCBA)を着用する。 防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外は近づけない。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項		漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材		環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。 危険でなければ漏れを止める。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	安全取扱注意事項	使用前に使用説明書を手入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 火気注意。 接触、吸入又は飲み込まないこと。

保管	接触回避 衛生対策	<p>空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
	安全な保管条件	<p>保管場所には危険物を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。 保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。 禁煙。 酸化剤から離して保管する。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。</p>
	安全な容器包装材料	<p>消防法で規定されている容器を使用する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2016年版)	ACGIH (2016年版)
エチレングリコール	未設定	未設定	TWA (-) STEL (C 100 mg/m ³ (H))
ジエチレングリコール	未設定	未設定	未設定
2-エチルヘキサン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定
ネオデカン酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策		<p>本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 取扱いについては全体換気装置を設置した場所で行う。 工程で蒸気、ヒューム、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。</p>
保護具	<p>呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具</p>	<p>換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。 保護手袋を着用すること。 眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) 必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。</p>

9. 物理的及び化学的性質

外観	物理的状態 形状 色	<p>液体 液体 オレンジ色</p>
臭い		製品特有の臭い

臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	8.7-9.2
融点・凝固点	-38°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	171°C
引火点	>110°C (セタ密閉式)
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	データなし
燃焼性(固体、気体)	適用されない
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	1.07-1.14
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と反応する。
化学的安定性	通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性	過剰な圧力又は熱を放出する危険有害な反応又は重合は起こらない。
避けるべき条件	熱、火花、裸火などの着火源。
混触危険物質	強酸化剤、強酸。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、エチレングリコール 4700mg/kg、ジエチレングリコール 12565mg/kg、水 >100000mg/kg であり、混合物の急性毒性推定値が >2000mg/kg のため、区分外 >2000mg/kg により、GHS:区分外に該当する。(エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナトリウムの毒性値は不明である。)
	経皮	成分の急性毒性値は、エチレングリコール 9530 mg/kg、ジエチレングリコール 11890mg/kg、水 >100000mg/kg であり、混合物の急性毒性推定値が >2000mg/kg のため、区分外 >2000mg/kg により、GHS:区分外に該当する。(エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナトリウムの毒性値は不明である。)
	吸入(蒸気) 吸入(ミスト)	データがなく分類できない。 成分の急性毒性値は、エチレングリコール 2.7mg/L、水 >1000mg/L であり、混合物の急性毒性推定値が、1.0mg/L < ≤ 5.0mg/L のため、1.0mg/L < 区分4 ≤ 5.0mg/L により、GHS:区分4「吸入すると有害」に該当する。(ジエチレングリコール、2-エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナトリウムの毒性値は不明である。)
皮膚腐食性及び刺激性		エチレングリコール、2-エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナトリウムが区分2で、区分2の成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		2-エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナトリウムが区分2A、エチレングリコールが区分2Bで、区分2Aの成分濃度+区分2Bの成分濃度の合計が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2B「眼刺激」に該当する。

<p>呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性</p>	<p>データがなく分類できない。 データ不足のため分類できない。 データがなく分類できない。 データがなく分類できない。 ジエチレングリコールが区分2で濃度限界(3.0%)以上の ため、GHS:区分2「生殖能又は胎児への悪影響のおそ れの疑い」に該当する。</p>
<p>特定標的臓器毒性(単回ばく露)</p>	<p>成分濃度が濃度限界(10.0%)以上の区分1の成分はエチ レングリコール(中枢神経系、血液系、腎臓)であるた め、GHS:区分1(中枢神経系、血液系、腎臓)「中枢神経 系、血液系、腎臓の障害」に該当する。 エチレングリコール、2-エチルヘキサン酸ナトリウムが 区分3(気道刺激性)で、成分濃度合計が濃度限界(20%) 以上のため、GHS:区分3(気道刺激性)「呼吸器への刺 激のおそれ」に該当する。</p>
<p>特定標的臓器毒性(反復ばく露)</p>	<p>エチレングリコールが区分3(麻酔作用)で、成分濃度合 計が濃度限界(20%)以上のため、GHS:区分3(麻酔作用) 「眠気又はめまいのおそれ」に該当する。 成分濃度が濃度限界($\geq 1.0\%$、$< 10\%$)の区分1の成分は ジエチレングリコール(腎臓、肝臓)であるため、GHS:区 分2(腎臓、肝臓)「長期にわたる又は反復ばく露による腎 臓、肝臓の障害のおそれ」に該当する。</p>
<p>吸引性呼吸器有害性</p>	<p>データがなく分類できない。</p>
<p>12. 環境影響情報</p>	
<p>水生環境有害性(急性)</p>	<p>各成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当す る。(2-エチルヘキサン酸ナトリウム、ネオデカン酸ナ トリウムについては水生環境有害性が不明である。)</p>
<p>水生環境有害性(長期間)</p>	<p>ネオデカン酸ナトリウムが区分3であり、区分3の成分濃 度の濃度合計が濃度限界(25%)未満で、その他の成分 がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。(2 -エチルヘキサン酸ナトリウムについては水生環境有害 性が不明である。)</p>
<p>オゾン層への有害性</p>	<p>モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層 破壊物質を含まないため分類されない。</p>
<p>13. 廃棄上の注意</p>	
<p>残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に 従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業 者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場 合にはそこに委託して処理する。</p>
<p>汚染容器及び包装</p>	<p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、 有害性を充分告知の上処理を委託する。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに 地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去するこ と。</p>
<p>14. 輸送上の注意</p>	
<p>国際規則</p>	<p>Regulatory Information Not dangerous goods by Sea</p>
	<p>Regulatory Information Not dangerous goods by Air</p>
<p>国内規制</p>	<p>陸上規制 消防法の規定に従う。</p>

特別の安全対策	海上規制情報 航空規制情報	非危険物 非危険物 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒しもしくは破損しないように積載すること。 移動の際に、転倒、衝撃、摩擦、圧壊、漏洩などを生じないようにする。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 運搬中の事故等により災害が発生した場合は、もよりの消防機関その他の関係機関に通報すること。 重量物を上積みしない。 輸送時にイエローカードを携帯する。 なし
緊急時応急措置指針番号		
15. 適用法令		
労働安全衛生法		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)(エチレングリコール) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)(エチレングリコール)
化審法 消防法		優先評価化学物質(法第2条第5項)(エチレングリコール第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1))
16. その他の情報		
連絡先 参考文献		株式会社阿部商会 NITE GHS分類公表データ ECHA C&L Inventory Database Prestone Products社製SDS(2014.09.26) 記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。
改版履歴		